

学校教育課長 様

神戸市立神港橋高等学校
校長 山下 哲朗

平成29年度 神戸市立神港橋高等学校 マネジメントプラン実施報告書

今年度重点目標	具体的方策(取組内容・状況)	達成状況・課題	自己評価	改善の方策	外部評価コメント
魅力ある授業づくりの推進	・計画的・系統的な指導計画の作成	各教科ごとに年間指導計画を作成し取り組むことが出来た。また、新3年生の選択科目の資料を作成した。2年目が終わり、教育課程で選択されない科目がある。	3	より魅力のある教育課程を目指し、教育課程の見直しを検討する。	・公開授業、オープンハイスクール等保護者の参加者が増えてくれば嬉しく思います。 ・公開授業も保護者会と一緒にすればもっと来校してもらえると思います。 ・補習をもっとしてほしい。 ・補習等学校の手厚い指導が実践され、分かる授業。力のつく授業に繋がっている。 ・魅力ある授業を更に目指してほしい。 ・生徒一人ひとりの将来の夢など目標をみつけるよう関わって頂きたい。そうすれば自主的な学習も出来るようになる。
	・目標に準拠した観点別評価の実施 ・指導と評価の一体化の推進	各学期ごとに観点別評価を実施できているとともに2年目に入り順調に取り組めているが、校内研修が十分行えなかった。		昨年度と同様に観点別評価を実施する。1学期に研修が出来なかったため、新たに転動した方への研修を実施する。	・ゼロから1を創造する授業が出来れば最高です。 ・PDCAサイクルでより魅力のある学校づくりに努めてほしい。
	・「分かる授業」「力のつく授業」の実践	公開授業週間を設けるなど、授業研究を実施した。また、教員による研究授業も行った。商業科においては1期生で3種目以上1級を取得している生徒が32名いる。		公開授業の実施と研究授業の回数を増やし、教職員全員で授業について話せる雰囲気づくりを推進する。	
学校生活における規律の確立	・適正な授業規律の確立	生徒アンケートの結果、ベル着、板書の記録、提出物が出来ているが8割を超えており、授業規律は保たれている。一方、自主的に勉強をしている生徒が少ないことが課題として挙がっている。	3	生徒への勉強に対する興味関心を十分に持たせ、自主的に取り組めるよう努める。	・挨拶は本当に良くできている。今後も指導を続けて社会へ送り出してほしい。 ・やる時はやる。遊ぶ時は遊ぶというメリハリをつけて欲しいです。 ・清掃活動をもう少し頑張ってもらいたい。 ・生徒が自主的に取り組めるよう具体的な工夫が必要。 ・生徒一人一人が輝けば学校の魅力になることを個々の生徒に自覚させる取り組みを。 ・近隣の清掃をしている様子を見ることがあり素晴らしいと思う。
	・あいさつ・適切な身だしなみ・言葉づかい・清掃活動の徹底	オープンハイスクールなどで中学生の保護者の方から挨拶を褒められることがあり、挨拶に関しては効果が見えてきている。身だしなみ・言葉づかい・清掃活動については、より徹底した指導が必要である。		次年度は、挨拶に加えて、一部の生徒が取り組むのではなく、全生徒・全教職員で清掃活動に対して充実した取り組みを実施する。	・外部の方に対して良い印象を持ってもらえることは嬉しいです。 ・あいさつが出来ようになってきている。清掃活動についても自主的に出来るよう取り組んでほしい。
	・3校併置の円滑な実施	定期的に合同管理職会議を実施し各校状況報告と情報共有を行い、必要な情報は教職員に校内LANを活用して情報共有をしている。		全教職員の情報共有にタイムラグがないよう全教職員が校内LANを1日2回以上見るよう改善したい。	
広報活動の充実	・中学校訪問の充実 ・学校ホームページの充実	中学校訪問については、1年間で82校の訪問を実施した。また、ホームページは、ほぼ毎日の更新を行いリアルタイムに情報を伝えることができています。	4	学校ホームページについては、限定した教員が更新をしているので、より多くの教員で更新ができるよう工夫をする。	・オープンハイスクールで学校の様子が良く分かるので続けてほしい。 ・広報活動頑張っている。オープンハイスクールも良かった。 ・大変な努力が必要と考えますが、引き続き同様な取り組みを。 ・商業高校であることが分かるような広報が必要。 ・HPで確認できることが沢山あるので良いと思います。 ・新しい学校なので中学校、地域にも大いにPRに努めてほしい。
	・オープンハイスクール、学校説明会の充実	8月22日・23日にオープンハイスクールを実施し、1,424名が参加。また、11月3日に学校説明会を実施して、446名が参加した。		オープンハイスクールも学校説明会も部活動の公式戦と重なり、部活動見学が十分できなかった。部活動の説明をどうするか工夫する。	
	・中学校進路集会への講師派遣	講師派遣は、基本的に断らない方針で取り組み34校の進路集会に講師を派遣した。		1件も断ることなく取り組めた。今後もこの取り組みを継続して行う。	

4: 達成できた
3: ほぼ達成できた
2: あまり達成できなかった
1: 達成できなかった

A: 自己評価及び改善の方策は適当である
B: 自己評価及び改善の方策は概ね適当である
C: 自己評価及び改善の方策は適当でない